

No. 3018

2022-2023年度

会 長 井上 修平
幹 事 上野山栄作
R広報委員長 中村 吉伸



島海碩書

第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2022-2023年度クラブ方針

「行動を起こして徳を積む」



本日のプログラム

令和4年10月6日 第3019回

- ・外部卓話：村田明美氏 (2570パスポートRC)
「私のロータリーモーメント」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

令和4年10月20日 第3020回

- ・前期IDM発表
- ・ソング：「ありがとうは私から」

前回の報告 (第3018回例会)

開催日 令和4年9月29日(木)

点 鐘 [井上会長]

ニコニコ箱の報告 [橋爪(誠)SAA]

井上君：脇村さん、急な卓話を快諾していただきありがとうございます。

上野山(栄)君：脇村さん、本日も卓話よろしくお願ひします。橋爪誠治さん、川口さん、DL研修ありがとうございます。

上野山(捷)君：脇村重徳様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

脇村君：本日、「地球温暖化」に関する話をさせていただきます。よろしくお願ひします。

中村君：脇村さん、卓話ご苦勞様です。「カーボンニュートラル」で有田市が再生されることを祈っています。

岩本君：脇村様、本日の卓話御苦勞様です。中元先生、先日はお世話になりました。

松村君：脇村教授、勉強させていただきます。

中元君：脇村重徳さん、本日の卓話よろしくお願ひします。勉強させていただきます。

川口君：脇村さん、本日の卓話宜しくお願ひ致します。勉強させていただきます。

木本君：脇村さん、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

児嶋君：脇村重徳君、「カーボンニュートラル」への挑戦、会員卓話よろしくお願ひします。栃武蔵、十両優勝できました。応援ありがとうございました。

菅原君：脇村さん、本日卓話宜しくお願ひ致します。先週、沖縄に行ってきました。「ひめゆりの塔」で娘達が熱心に観て回っていました。

辻君：脇村さん、本日の卓話宜しくお願ひします。楽しみ



にしています。

橋爪(誠)君：脇村さん、本日の卓話楽しみにしておりました。地球にとって、非常に大事な問題だと思います。勉強させていただきます。

出席報告

[例会運営小委員会 上野山(捷)委員長]

本日の会員数26名

(出席規定免除会員8名)

出席会員16名

(出席規定免除会員3名)

※DVD視聴者は集計中

会長の時間 [井上会長]

「勉強」

携帯電話の待受けは孫の写真の井上です。

早いもので、今月最後の例会となりました、今月は識字率向上月間ということで元学校の先生を卓話にと考えていて、今日も元学校の先生を予定していたんですが、卓話者が急逝されて脇村さんをお願いした次第です。

ご存知のように脇村さんの卓話は非常に聴きごたえのある卓話なので楽しみにしています。

さて、脇村さんをはじめこの有田ロータリークラブの皆さんは高学歴者が多いと思います。

私は学生時代は勉強が嫌いで殆ど机に向かって勉強などしたことがなかったように思います。

授業中もほとんど先生の話に集中せず、「早く授業が終わらんかな」といつも考えていました。

又、身内からも勉強しなさいとあまり言われたことがありま



せんでした。どちらかといえば勉強よりも家業を手伝うように言われたと思います。当時は地元でも魚の水揚げが多く漁師さんや仲買さんの子供は学校が終われば普通に家業の手伝いをしたように思います。

私は当然のごとく家業を継ぐこととなりましたが、今になってあの頃もう少し勉強しとけばよかったな！と思います。

ロータリークラブに入会して色んな文書作成をしたときに自分の知識のなさに驚くことが多々あります。今の時代は調べ物はネットに接続してさえいれば簡単に解決しますが、知識のなさに何度も調べ物をするためなかなか前に進みません。そして、長時間机に座って勉強したことがないのですぐ飽きてしまいます。これでは仕事は前に進みません。

こんな私でも社員やアルバイトの募集の面接をしますが、判断材料は「この人は努力する人かな？」と考えます。

例えば甲子園へ出場したとかのようなジャッジをする判断材料の一つに「勉強」が入ってくると思います。

この「勉強」、非常に公平だと思います。

スポーツ界に憧れる若者がいくら努力しても対戦相手やコンディションなどに左右され、芸能界に憧れる若者が努力してもステージに中央に立てるのはほんの一握りです。

でも、勉強は自分の努力＝結果です。

高学歴のみなさん、学生時代の努力した自分に感謝しましょう！

最後に問題です。

積載量200kgの軽トラックに20kgの魚を30箱積載し坂道を登るときどうするかわかりますか？答えは来週の週報に掲載します。

《答え》

「バックで登ります」



幹事報告

〔上野山(栄)幹事〕

1. 地区より

①地区大会 一般公開公演のご案内とチラシ配布のお願いが届く。→本日本配布

11月6日10:00から

(株)島精機制作所の代表取締役会長 島正博さん

「変革する力、チャレンジする力 ～愛と創造と気で挑む～」

②地区立法案検討会の案内が届く

11月5日 16:15～17:15

選挙人は来週の理事会で承認していただきます。

2. ロータリー記念奨学会より

①2021年度事業報告書等が届く →ロータリー財団・米山記念奨学委員会委員長の児嶋さんに渡す。

②ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典が届きました。→本日本配布



3. 例会方法について

現状のハイブリット型から10月20日より通常の例会へ移行の予定です。

4.30年ほど前に耐久高校に交換留学生として当クラブが世話したスリランカのヒマニイさんは現在、スリランカのRCの会員となっています。ヒマニイさんから連絡があり、現在のスリランカの貧困社会における青少年奉仕活動への協力依頼が来ています。本日、例会終了後、ZOOMでのミーティングを行います。

5.次回10月6日例会終了後、第4回定例理事会を開催。理事役員の皆様ご出席をよろしくお願ひいたします。

委員会報告

※ロータリー財団・米山記念奨学委員会
〔児嶋委員長〕

9月18日(日)14:30から開催された2022-2023年度クラブ米山委員長会議の件。

※SAA〔橋爪(誠)君〕

9月末をもってクールビズ終了です。次週10月6日よりネクタイ・上着着用をお願いいたします。FAXでも案内いたします。



卓話



会員

脇村 重徳 君

「カーボンニュートラル」への挑戦

私たちは、火力発電による化石燃料の燃焼をはじめ、自動車や航空機の利用、果ては家畜のゲップに至るまで、日常生活や経済活動で常に温室効果ガスを大量に排出している。温室効果ガスが増えると、「地球温暖化」が進行して猛烈な自然災害が発生してしまうため、その排出量を削減しなくてはならない。

これを受けて世界は、120以上の国と地域が2050年「カーボンニュートラル」という目標を掲げ、大胆な投資が相次ぐなど気候変動問題への対応を“成長の機会”と捉える国際的な潮流が加速している。

そもそも「カーボンニュートラル」とは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることである。具体的には、地球的レベルで「地球温暖化」の原因となっている石油、石炭、天然ガスなど化石燃料の使用量を削減さらには停止するとともに、一方では、水力、太陽光、風力などの再生可能エネルギーや、水素、原子力などの非カーボンエネルギーを駆使して電源構成を再構築することを意味し、地方自治体までもが連携して取り組まなくてはならない「地球温暖化」への挑戦なのである。

こうした中で、究極のエネルギー源として注目されてい

るのが水素である。水を分解して取り出すことができる水素は、燃焼させても空気中の酸素と結びつき水となり、「地球温暖化」の原因となる二酸化炭素を一切排出しない、また、貯蔵性、可搬性、柔軟性といった特性も有している。

トヨタ自動車が開発した燃料電池自動車「MIRAI」は、水素と酸素を化学反応させて水にする段階で電気のエネルギーを発生させ、その電力でモーターを動かす方式である。この技術は環境にやさしく、エネルギーの安全保障に役立ち、かつ産業競争力をも兼ね備えた究極の自動車と位置づけことができる。さらに、こうした技術は「JR東日本」の燃料電池車両や、「エアバス社」のゼロエミッション飛行機などの開発にも応用されつつある。

エネオスHDは、2030年代に水素供給を商用化する方針を明らかにし、脱炭素社会に向け、燃料電池車や発電、製鉄など幅広い分野で見込まれる需要増に対応するとして、今後、日射量や水資源が多く、再生可能エネルギーが豊富な豪州やマレーシアなどで、水素の生産設備の大型化などに取り組む予定である。

こうした中で2022年4月、2030年までに「脱炭素」を目指す自治体などを国が選ぶ「脱炭素先行地域」について、第1弾として19都道府県の26か所が選ばれた。地域経済の循環に役立てるために、最長5年間、最大50億円の支援をするとともに、更に3年ほどかけて100か所以上を選ぶ方針である。本市も企業を巻き込んで、積極的に「脱炭素先行地域」への名乗りを上げるべきである。

閉会・点鐘

〔井上会長〕

本日の例会風景



2022-2023年度 前期IDM

開催日時：

2022年10月12日（水）

13日（木）

18：30～19：30

開催場所：

橘家又はZOOM

テーマ：

「親睦活動と会員増強」

次週

10月13日（木）は
休会です

友情はロータリーを築く岩のように堅固な土台であり、寛容の精神はロータリーを結びつけるものです（1948年、没後に出版）

「ポール・ハリスの名言10選」より引用

